

スマホ紛失時の対応

JJ1SXA/池

さあ大変、今や生活必需品ともいえるスマホが見当たらない、何処で無くしたかも見当がつかない…そんな時に役立つのが、スマホの「探す」機能だ。

iOS 端末を紛失、あるいは盗難された場合は、次の手順で対処、(1)「探す」機能で端末の場所を確認、(2)「紛失モード」を設定、(3)警察に遺失物届を提出、(4)キャリアや電子マネー業者に利用停止の連絡をする。

「探す」機能では、Apple ID に紐付いた端末の場所を地図上で確認できるし、紛失した端末の画面に「紛失中」と「連絡方法」を表示することもできる。

「紛失モード」を設定すると、端末をロックして支払いなどができなくなり、また、連絡先を表示させることもできる。

「盗難デバイスの保護」機能は、iOS 17.3 以降で利用できます、この機能を有効にしておくと、窃盗犯による致命的な操作が阻止され、デバイスを紛失としてマークすることができます。

また、AppleCare+ 盗難・紛失プランに加入している場合は、盗難や紛失に対する保証を受けることができます。

以前は、Android 端末には、iOS 端末の紛失・盗難時に対処する機能と同様のものが無かったが、現在は、iOS 端末同様の機能がある。

Android 端末を紛失、あるいは盗難された場合、次の方法で対処、(1)「デバイスを探す」機能を利用する、(2)携帯電話キャリアの位置情報サービスを利用する、(3)警察に届け出る、(4)回線を停止する、(5)各種サービスを停止・変更する。

「デバイスを探す」機能は、Google アカウントにログインしている Android デバイスに設定されている場合、リモートで位置の特定や保護、データ消去を行うことができる。

「デバイスを探す」機能を利用するには、次の手順に従う、android.com/find にアクセスする、Android デバイスに設定している Google アカウントと同じアカウントにログインする、「Google デバイスを探す」の画面のマップにデバイスのある大まかな位置が表示される。

また、手元にある別の Android デバイスから「デバイスを探す」アプリを起動して、紛失したデバイスを探すこともできる。

携帯電話キャリアによっては、紛失端末の位置検索サービスを提供している、たとえば、au では「位置検索サポート」というサービスがあり、基地局から推測される位置情報をもとに自宅のパソコンでスマホの位置を追跡することができる。

普段から失くさないように 気を付ける方が先なれど… (2024 年 12 月記)

注:この記事も第 120 号用に書いたが、PC の不調で、一時行方不明になっていた。